

第17回 日本スカウトジャンボリー 感想

静岡14隊 浜松19団 荒川友貴

今回、石川県珠洲りふれっしゅ村鉢ヶ崎で開催された第十七回日本スカウトジャンボリーに班長として参加しました。

私は以前第十六回日本ジャンボリーと第二十三回世界スカウトジャンボリーに参加していたため自分のことは心配にはなりませんでしたが、班員の中にボーイ隊に上進したての初級の小6スカウトがいるため、全員が無事に石川県から静岡県まで帰るといふ、班長の責任がありました。

事前訓練、普段の活動の様子から本当にこのメンバーでジャンボリーに行くと大丈夫かなと不安になることが多くあり、ジャンボリーで班員が本当に全員無事に帰れるのか心配になりました。

ジャンボリー本番、始めは先輩スカウトの指示を待っていたり、イスに座って遊んでいたりと心配していた通りになってしまい中学生が主に料理などをしていましたが、徐々に生活に慣れてくると、小6スカウトが自分からやることを探すなど、自分で先のことを考えて行動するようになったため、今回のジャンボリーでは小6スカウトが成長する良いきっかけになったのではないかと思います。

小6スカウトが成長したことによって始め心配していたことが嘘のようになり、無事に全員帰ることが出来て良かったです。

自分自身もまた、今回の活動は班長として成長することが出来た良い活動になりました。